

<今日の説教のポイント ルカによる福音書8章42b-48節>

1 長血の女の深い苦しみ — 最後の抛り所、主イエス・キリスト。

この女の苦しみの大きさにまず注目です。全財産を治療のために使っても12年間治らない苦しみ以外に、宗教的に汚れているとされて人の集まりに入れぬ苦しみも負っていたのです(レビ記15:25以下)。その禁を犯してまでしてイエス様に近づいて取った彼女の行動は、イエス様に最後の期待を寄せている真剣さを感じさせられます。

2 イエス様はなぜ治った女を放っておかれなかったのか?

そのイエス様への大きな期待が奇跡を生みました。イエス様の服に触れただけで癒されたのです。イエス様も自分の内から力が出て行ったことに気づかれたというのは興味深いことですが、「私の服に触れたのは誰か」といつまでも問い続けられたことの方が重要です。大きな苦しみの原因であった病が癒されたなら、それでいいのではないのでしょうか。そうではありません。それは女の願ったゴールであっても、神様が用意して下さった本当のゴールにはまだ達していません。本当のゴールとは、イエス・キリストその方の重要性に気づくことです。イエス様はそこまで導くために女を探し続けられたのです(ルカ15章の主題)。

3 「あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい」の意味。

女はイエス様の呼びかけについて答えます、自分だと申し出て全てを話したのです。この後、ゲラサの悪霊に取りつかれていた男と同様、イエス様と話す濃密な時間が流れたことでしょう。それは「癒されて万歳」で終わるのではなく、さらなる高み(神様が自分のために、否、全ての人の救いのためにこの方を遣わして下さったことを知る高み)に導かれる時間となったのです。私たちが今こうして持っている時間も、私たちが同じ神様を知るために神様が与えて下さった時間なのです。人生は一つのハードルを乗り越えることができても、次々別のハードルが待っています。しかし、このイエス・キリストの神様を信じて生きる時には、もうどんなハードルが待っていても安心なのです。「あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい」とはそういう意味なのです。